

キリストのからだとしての召会のビジョン、実行、建造

(金曜日——午前の第一の部)

メッセージ 4

召会生活の実行における極めて重要な経験 (1)

わたしたちの魂は征服され、その霊としてのキリストをもって浸透され、
そしてキリストは魂の監禁から解放される

聖書：エペソ 3:8-11, 16-21. コロサイ 3:11. I テサロニケ 5:23. II コリント 4:16. ヘブル 4:12

I. 召会生活は、すべての聖徒が団体的な方法でキリストを実際化し、経験し、表現することです——エペソ 3:16-21：

- A. 神の計画は召会を持つことであり、その目的はキリストを表現することです。こういうわけで、召会はキリストの表現であるのです——エペソ 3:9-11, 21。
- B. 召会生活は、すべてを含むキリストとキリストの計り知れない豊富がわたしたちによって経験され享受され、わたしたちを通して表現されることにほかなりません——エペソ 3:8, 21。
- C. わたしたちはそのような召会生活を持つとするとするなら、キリストで構成される必要があります。そしてついには、わたしたちであるすべて、わたしたちが持っているすべてはキリストご自身だけになり、キリストはすべてであり、すべての中におられます。これが召会生活の本質であり、実質です——コロサイ 1:12. 2:9-10, 16-17. 3:4, 10-11. 4:15-16。

II. 神の永遠の定められた御旨にしたがって、キリストを表現する召会生活を持つために、わたしたちの魂は征服され、その霊としてのキリストをもって浸透されなければなりません——I テサロニケ 5:23. エペソ 3:17 前半. ガラテヤ 4:19. I コリント 15:45 後半. II コリント 3:17：

- A. 一方で、神聖な命の成長は、わたしたちの内側で聖霊の立場が拡大することです。もう一方で、命の成長は、わたしたちの魂のあらゆる部分が征服されつつあることを意味します——I テサロニケ 5:23：
 - 1. わたしたちの魂が征服されればされるほど、ますます命が成長します。わたしたちの魂が減少すればするほど、ますます命が増し加わります。これは確かな事実です。
 - 2. ある人の魂の特別に強く、突出している部分が、その人がそれによって生きている部分です。人は物事に遭遇するとき、その部分を用いてそれらを対処します——I コリント 2:14。
 - 3. わたしたちが十字架の十分な対処を受けた後、わたしたちの魂のあらゆる部分は征服されます。わたしたちの思い、感情、意志は征服されており、もはや以前のように突出していません——参照、II テモテ 1:7。
 - 4. 雅歌が啓示しているのは、わたしたちが主の美しさで引き付けられて彼を愛した後、唯一の学課、すなわち、わたしたちの意志が征服されることを学ばなければならないということです——1:9-11：

- a. わたしたちの意志が征服されればされるほど、ますますわたしたちは造り変えられます—— 4:1, 4. II コリント 3:18. ローマ 12:2。
 - b. 人の意志はその人の真の自己、その人自身と言うことができます。なぜなら、意志はその人を代表するからです——ヤコブ 4:13-15. I コリント 4:19. 使徒 18:21。
 - c. 神がキリストの中でわたしたちに永遠の命を与えることと、それに加えてわたしたちの意志が神に立ち返ることは、救いの最大の働きです——ピリピ 2:12-13。
 - d. 神との最も重要で最も完全な結合は、わたしたちの意志と神のみこころとの結合にあります——マタイ 7:21. 12:50. ローマ 12:2. コロサイ 1:9. 4:12。
- B. 神の表現としての召会のために、わたしたちは命を与える霊としてのキリストにわたしたちの内側の各部分の中で生きていただき、ご自身をもってそれらに浸透していただかなければなりません——ガラテヤ 2:20. 4:19. エペソ 3:16-17 前半：
- 1. わたしたちは内側の各部分の中で、すなわち、わたしたちの魂の各部分の中で神聖な実際をもって構成される必要があります——詩 51:6：
 - a. 神聖な実際とは、三一の神、すなわち、父、子、霊がわたしたちの構成要素となることです——ヨハネ 14:6. 16:13. I ヨハネ 5:6。
 - b. 実際の霊はわたしたちをすべての実際の中へと導きます。すなわち、御父が持っているものの中へと導き、御子が持っているものの中へと導き、その霊が御子から、また御父の持っているものから受けるものの中へと導きます——ヨハネ 16:13。
 - c. 実際の霊がこの実際をわたしたちの中へと伝達することによって、わたしたちを神聖な実際の中へと導くとき、神聖な実際、すなわち、手順を経て究極的に完成された三一の神はわたしたちの存在の本質となります—— I ヨハネ 4:13-14. 5:6。
 - d. 神聖な実際は、わたしたちの実際、命、生活となるべきです。またこの実際はあらゆることにおいて、あらゆる面でわたしたちの全存在に適用されて、わたしたちの日常の歩みにおける実際となるべきです——III ヨハネ 3 節. ヨハネ 4:23-24。
 - 2. 「人の霊はエホバのともし火であり、内なる存在の最も深い部分をすべて探る」——箴 20:27：
 - a. わたしたちの霊は、わたしたちの内側の神のともし火であり、わたしたちの再生された霊の内側で輝く光は、神ご自身です——ヨハネ 3:6. I ヨハネ 1:5。
 - b. 油としての神の霊が「ろうそくの芯」としてのわたしたちの再生された霊（参照、ローマ 8:16）に浸透し（ミングリングされ）、わたしたちの霊と共に「燃える」とき（12:11）、神聖な光はわたしたちの内側の各部分において輝きます。
 - c. その霊は、わたしたちの内側の各部分すべてを照らし、わたしたちの思想、感覚、動機、意図を照らすことを願っています。
 - d. わたしたちが主に開いている器であり、わたしたちの存在の最も内なる部分をすべて開くなら、わたしたちは内側で神聖な光が輝くことを経験します——II

コリント 4:6-7。

- Ⅲ. 神の永遠の定められた御旨にしたがって、キリストを表現する召会生活を持つために、わたしたちの外なる人が砕かれて霊が解放されることを通して、キリストがわたしたちの魂の監禁から解放される必要があります——Ⅱコリント 1:9. 4:16. ヘブル 4:12 :
- A. わたしたちの霊の中にはキリストがおられますが (Ⅰコリント 6:17. Ⅱテモテ 4:22)、わたしたちの思い、感情、意志の中には彼のための余地や立場がないかもしれません :
1. もしこれがわたしたちの状況であるなら、わたしたちの霊はキリストのための住まいではなく、彼にとって獄です。キリストはわたしたちの魂によって監禁されています。
 2. キリストはわたしたちの霊に内住していますが、わたしたちの魂の内側の各部分をすべて占有しているわけではないかもしれません。これは極めて重要な事柄です。
 3. キリストは栄光の望みとしてわたしたちの中におられますが (コロサイ 1:27)、わたしたちの魂はあまりにも強く、天然的で、地的で、人間的です。ですから、意識的であれ無意識的であれ、わたしたちは魂によってキリストを監禁するのです。
 4. 召会生活は、キリストが聖徒たちから出て来て、彼の団体の表現となることです。しかしながら、キリストがわたしたちの内側で監禁されたままであるなら、わたしたちは召会生活を持つことはできません——エペソ 3:16-17, 21。
- B. わたしたちはみな、外なる人が砕かれて霊が解放されることを経験する必要があります。それはキリストが団体的な方法で表現されるためです——ヘブル 4:12 :
1. 砕くことは、本来わたしたちが天然の存在において持っているものを取り除き、わたしたちの本来の様子を変え、わたしたちの本来の状態を変えます。
 2. わたしたちがどれほど砕かれているかは、わたしたちがどれほど神と協力することができるかです——ピリピ 2:12-13。
 3. 神によって砕かれるものは何であれ死の中へと入り、死を経過します。いったんそれが死を経過すると、復活の中へと入り、またいったんそれが復活させられると、神の目標に到達することができます——Ⅱコリント 1:8-9. ピリピ 3:10-11。
 4. わたしたちが砕きを受ければ受けるほど、ますますわたしたちの霊は解放されます。どんな事柄においてもわたしたちが砕きを経験するなら、わたしたちの霊はその事柄において解放されます——Ⅱコリント 4:16. ヘブル 4:12。
- C. わたしたちの魂が征服され、砕かれるとき、キリストが表現されます。このキリストの表現においてわたしたちは一であり、キリストの団体の表現としての召会生活を持ちます——エペソ 3:21. 4:3-6. ヨハネ 17:22。